

都市再生整備計画（第5回変更）

玄武洞・コウノトリの郷公園地区

兵庫県 豊岡市

平成20年8月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	とよおかし 豊岡市	地区名	げんぶどう 玄武洞・コウノトリの郷公園地区	面積	695 ha					
計画期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度					
					交付期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度

### 目標

大目標：天然記念物玄武洞を含む「玄武洞公園」の魅力づけと、特別天然記念物コウノトリ保護・増殖施設を中心とした「コウノトリの郷」を総合的に整備することによる、市民・観光客の交流拠点の創造

- 目標1 「柱状節理」で代表される景勝地玄武洞を中心とした、観光交流による賑わいの再生。
- 目標2 コウノトリを核とした様々な生きものとのふれあいや、有機農業など地域再生の取り組みを通じた交流人口の増加。
- 目標3 玄武洞の高い学術的価値を活かした学習基盤の整備と、コウノトリの野生復帰事業を通じた自然生態系づくりなど、人と自然が共生する環境学習基盤の整備。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- 山陰海岸国立公園内に位置する天然記念物「玄武洞」は、近畿自然歩道の豊岡市域ルートの始まり地点にあり、特別天然記念物「コウノトリ」とともに本市の重要な観光資源である。また、同区域は、城崎・出石など近隣の有名な観光地を訪れる人の立ち寄り先になっている。
- 玄武洞公園は日本の岩石の節理を代表する景勝地であるだけでなく、「玄武岩」という岩石名の由来となったり、地球磁場逆転期が過去に存在したことを証明する基となるなど、高い学術的価値を有する貴重な公園であり、適正な保全と生きた学習素材・観光資源としての積極的な活用を図っていく必要がある。
- 平成18年には兵庫国体が開催されることになっており、県内外から多くの人が但馬地域を訪れることが予想されているため、地元からの整備に対する要望が強い。また兵庫県において、アクセス道路(円山川右岸道路)の整備が順次進められており、完成の暁には公園への交通アクセスは格段に改善され、日和山・城崎と玄武洞そして出石を結ぶ観光回廊ルートとなることが予想され、来訪者の大いなる増加が期待できる状況になっている。
- 玄武洞の前面を流れる一級河川「円山川」はゆるやかな流れをもつ優雅な河川であるが、国土交通省においてこの川の中州である「ひのそ島」を希少植物を残しながら掘削し湿原を出現させる自然再生型河川改修が実施されており、当該事業と連携し玄武洞公園を整備することで、多自然型の景勝ゾーンを創出し、野生復帰するコウノトリが悠然と舞う姿を観察することができる。
- 玄武洞公園に隣接している玄武洞ミュージアムや水田魚道設置など自然に配慮した土地改良事業、また近隣には南方向にコウノトリの郷公園付属施設としてコウノトリ保護増殖センター、北方向には円山川公園CSRなどの研究・学習・文化施設があり学習・研究・環境ゾーンを形成している。玄武洞公園、コウノトリの郷公園を学習施設として活用することにより、当該ゾーンの強化を図ることができる。
- 観光交流の促進や学習、レクリエーションなど多様な活用を図るため、文化庁、学識経験者、地元市民等による玄武洞公園整備検討委員会を立ち上げ、整備計画の内容やその進め方について協議し、平成14年度に「玄武洞公園整備基本構想」を平成15年度には「玄武洞公園整備基本計画」を策定した。今後、これらに基づき計画的に整備を進めることにしている。
- 平成11年度にコウノトリの郷公園が開園され、多くの人が同公園に來園し、自然環境の悪化等によりコウノトリが野外で姿を消した経過および長い年月をかけて増殖保護に取り組んでいる状況を利用できる場を提供している。
- 平成17年度のコウノトリの野鳥復帰に向け、人と自然の共生できる地域づくりに向けた取り組み(調査・研究、有機農業、環境整備、普及啓発活動等)を行政(国・県・市)および市民協働で進めている。
- 自然環境学習や様々な交流の促進、農業振興など多様な活用を図るため、学識経験者、行政(国・県・市)、地域の地域活動グループによるコウノトリ翔る地域まるごと博物館構想・計画検討委員会を立ち上げ、整備計画の内容やその進め方について協議をし、平成14年度に「コウノトリ翔る地域まるごと博物館基本構想・計画」を策定した。今後、これらに基づき計画的に整備を進めることにしている。
- コウノトリの郷公園の開園以降、交流人口は増加しているが、地域経済の発展までには至っていない。

#### 課題

- 玄武洞公園・コウノトリの郷公園は本市の観光資源であるが、城崎・出石など近隣の観光地とのネットワークが十分に図られていない。学術的価値および自然の魅力を高め、近隣観光地との連携をいっそう深めていくことが必要である。
- 玄武洞公園の中核をなすのは、天然記念物の玄武洞・青龍洞を初めとする洞であるが、現在、洞の周辺には柱状節理が隠れるほどに草木や落石が覆うなど、せっかくの景観が損なわれている状況にある。さらに同公園の路面は、玄武岩が敷き詰められているが滑りやすいため、石段等に手摺が必要である。また桜などの植栽・木が老木となって枯死するものも多く、園路は荒れたままの状況になっているため、年々訪れる入園者数も減少傾向にある。一方、平成11年に開園したコウノトリの郷公園の入園者数は近年13～16万人であるが、今後、野生復帰の進展とともに増加していくものと思われる。今後は玄武洞公園・コウノトリの郷公園を含めたエリア全体のグレードアップを行うことにより、来訪者を地域の活性化・経済効果に繋いでいくことが必要である。
- 豊かな自然と循環・共生の暮らしによって野生コウノトリが生息していたかつての環境を取り戻し、その活動を通じて21世紀の新しい共生社会、真に豊かな社会を築いていく先導的な取り組みを近隣地域のみならず全国に伝えることが必要である。
- 本市の観光資源である2つの公園は市街地郊外に存在し、また主要道路から離れていることもあり来訪者には場所が認識しづらくなっている。主要道路および両公園を結ぶ動線が確立されていないためモニュメント・総合案内板・誘導サイン等によりルートを設定し、観光客の流れを確立させることが必要である。
- 多くの観光客を集めるだけではなく、その賑わいを地域経済の発展に寄与することが必要である。

#### 将来ビジョン(中長期)

- 豊岡市総合計画では、玄武洞公園は豊かな自然環境など、まちの個性を生かした公園の整備を目指すことを基本理念に、景勝地にふさわしい観光資源としての整備・充実を進めるべき公園として位置づけられている。また、交通体系の整備をはじめ、民間活力を導入した観光施設の整備を促進することとしている。一方、コウノトリの郷公園周辺は、「環境創造モデルエリア」として位置づけられている。豊かな自然を再生し、コウノトリその他の野生生物と共存できる、人と自然との調和した環境の創造について理解を深め、市全体の環境改善、教育、学術及び文化の発展へと拡大を図っていく。
- 豊岡市都市計画基本方針では、玄武洞公園及びコウノトリの郷公園の各周辺を自然・学習の公園ゾーンとして広域的な観光拠点整備を進めることにしている。
- 平成17年3月に策定した豊岡市環境経済戦略では、地域と経済が共鳴するまちづくりを進めることにしている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
					基準年度	目標年度
来園観光客入込数	人/年	玄武洞公園の入込客数	但馬北部の観光地である「出石・城崎」の中間点に位置することから観光ルート結節点との位置づけをし、現入込客数の2割増を目標として賑わいの再生を図る。	193,000	平成16年度	232,000 平成21年度
来園観光客入込数	人/年	コウノトリの郷公園の来園者数	同公園を本市の観光拠点として確立させ、住民参加による観光交流の充実を図ることにより現来園者数の2割以上の増を目指す。	160,000	平成16年度	200,000 平成21年度
環境・教育学習の参加人数	人/年	玄武洞および玄武岩の成り立ちを学習する参加人数。 環境学習の場として農業や里山の生き物観察に参加する人数。	自然環境問題が注目されるなか観光施設としてだけでなく、自然・環境・農業学習の場としての認知を図り、現参加者数の2倍を目指す。	800	平成16年度	1,600 平成21年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1(公園整備による観光拠点の形成、交流人口増加による賑わいの促進) 本市の交流人口を増加させるため、本市の重要な観光資源である玄武洞公園とコウノトリの郷公園を魅力あふれる観光拠点として連携的に整備する。また、地域交流センター内で地場産品の販売・PRを行いながら地域経済の発展を支援し、さらに同地区内にある北近畿タンゴ鉄道を第二の公共交通機関と位置づけ、観光客の利便性向上および交流人口の増加を図る。</p>	<p>玄武洞公園整備事業(園路、手摺、柵の整備、植栽除去、落石除去) (関連事業/天然記念物玄武洞記念物保存修理事業、県道戸島玄武洞豊岡線道路改良事業) 高次都市施設—地域交流センター(物販施設・交流研修室)の整備 (関連事業/コウノトリと共生する水田づくり事業、田園自然環境保全・再生支援事業)</p>
<p>・整備方針2(観光客の誘導) 玄武洞公園及びコウノトリの郷公園への円滑な観光客動線ルートを確立するための散策道の整備を行い、自然環境学習を推進するため、有機農業を実施している区域へ導く動線を確立させる。また、周辺道路にもモニュメント・総合案内板・案内サイン等の情報板を設置し、観光客の誘導を促進させる。</p>	<p>地域生活基盤整備事業—広場(ポケットパーク)の整備 情報板(案内サイン・総合案内板)の整備 高質空間形成施設事業—緑化施設等(モニュメント)の整備 電線類地下埋設施設 (関連事業/歩道美装化事業、電線類地中化事業、電柱類美装化事業)</p>
<p>・整備方針3(生涯学習教育の充実) 天然記念物「玄武洞」を含む玄武洞公園は高い学術的価値を有する貴重な公園であり、本市および近隣市町の小中学生を対象にした学習の場としての整備を図る。 特別天然記念物「コウノトリ」については平成17年度の試験放鳥を控え、官民一体となって人と自然が共生できるまちづくりに取り組んでおり、その中心施設であるコウノトリの郷公園周辺を環境教育の場として整備を図っていく。</p>	<p>高次都市施設—地域交流センター(教育学習施設)の整備 (関連事業/天然記念物玄武洞記念物保存修理事業、円山川ひのそ島掘削事業、経営体育成基盤整備事業、コウノトリと共生する水田づくり事業、田園自然環境保全・再生支援事業)</p>
<p>その他</p>	



都市再生整備計画の区域

玄武洞・コウノトリの郷公園地区(兵庫県豊岡市)

面積

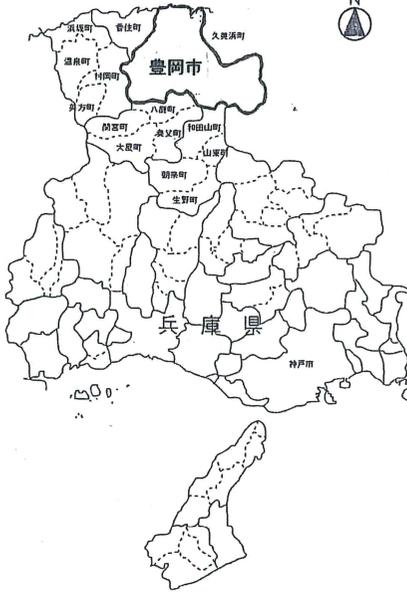
695 ha

区域

豊岡市赤石、野上、森、山本、船町、六地藏、日撫、下宮、梶原、庄境、鎌田、祥雲寺、法花寺地区

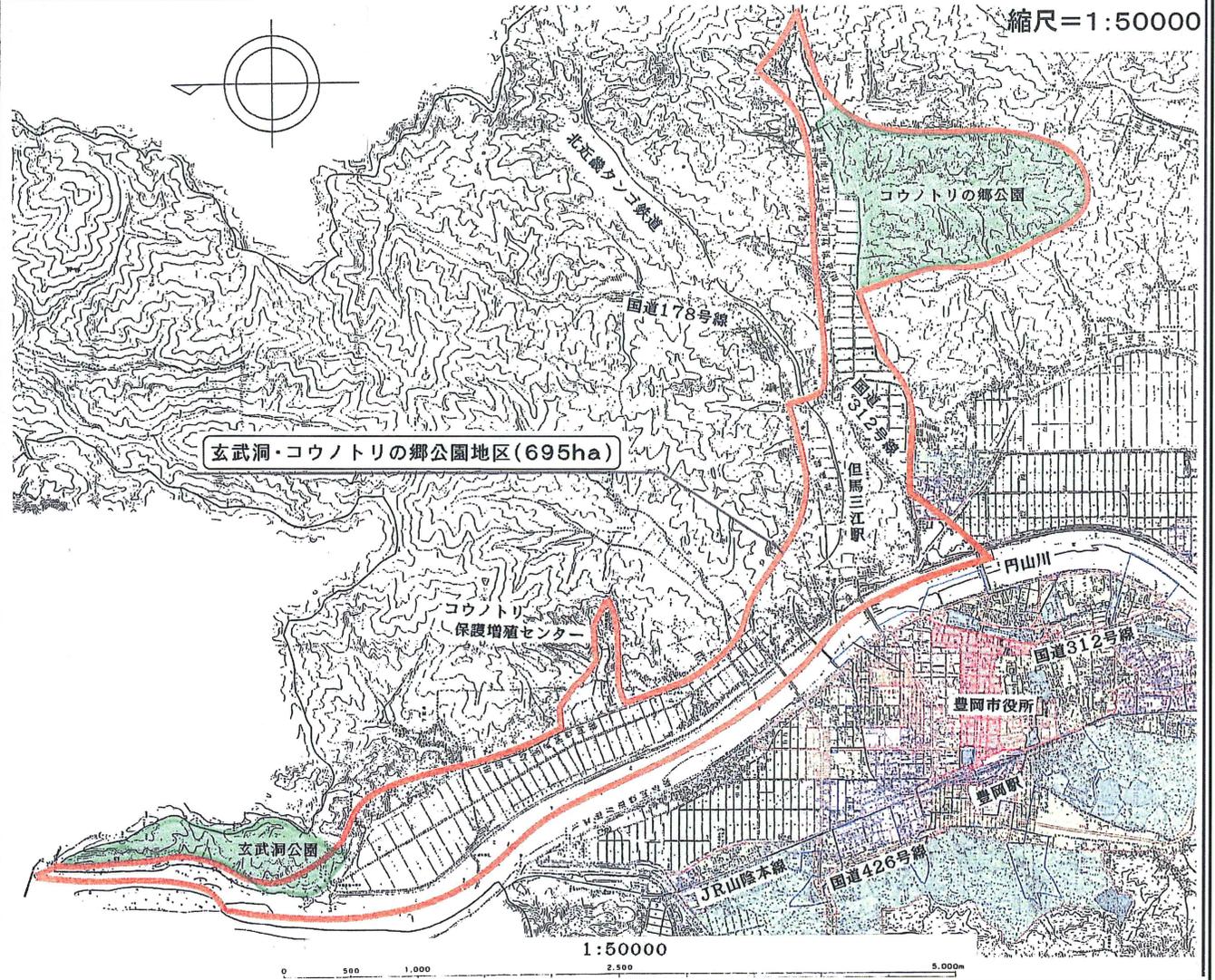
※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

兵庫県図



豊岡市図

玄武洞・コウノトリの郷公園地区 (695ha)



# 玄武洞・コウノトリの郷公園地区(兵庫県豊岡市) 整備方針概要図

目標	大目標:天然記念物玄武洞を含む「玄武洞公園」の魅力づけと、特別天然記念物コウノトリ保護・保育施設を中心とした「コウノトリの郷公園」を総合的に整備することによる、市民・観光客の交流拠点の創造	代表的な指標	玄武洞公園来園入込客数 (人)	193,000 (H16年度)	→	232,000 (H21年度)
			コウノトリの郷公園来園者数 (人)	160,000 (H16年度)	→	200,000 (H21年度)
			環境・教育学習としての参加者数 (人)	800 (H16年度)	→	1,600 (H21年度)

